

# 新しい加入で周りの意識が変わった 積極的な加入の呼びかけを!

6月30日、昨年からの加入が相次いだ上野支部・常磐地区協議会の組織対策交流会が千葉県松戸市において開催されました。はじめに常磐地区協議会・西尾議長が「常磐地区として先日も交流会を行い、多くの職場報告と討論で盛りあがった。常磐地区では駅や車掌や検修、保線や運転士など職場も系統も幅広く加入がある。反面、入った方の周りに国労組合員がいない状況もありえることか



ら、交流会を通じて繋がりを深め、多くの拡大に向けて意見を交わしていきたい」と挨拶を行いました。続いて東日本本部・武田組織部長が、東日本本部の組織現状や各地方の取り組み、各会社の状況などの報告を行い「各地の交流会の経験を全体へと広げる取り組みがきっかけで仙台のLIVITでの拡大に繋がるなど成果も出てきている。呼びかけティッシュの活用をはじめ、職場ニュースや掲示板など情報をどう提供して、加入を訴えていくかが重要。エルダーの方たちが中心となって労働環境改善や拡大に向けて動いている職場もあるので、残り年数が少ないからと諦めず頑張りたい。加入した方をひとりにならないよう分会や職場でできることを考えながら更なる仲間を作ってほしい」と呼びかけました。その後、職場報告を兼ねた自己紹介を行い、新しく加入した白井さんや鶴岡さんからは改めて国労に入ってきたきっかけや「組合には入っていた方がいい」「信頼できるのは国労の人たちだった」と話がされ、他の人からも「新しい加入で、周りの組合員の意識が変わって積極的になってきた」などの影響が話されました。また、各職場の状況から各会社の動きなどの積極的な情報交換もあり、幅広い内容の交流となりました。

最後に古城事務局長が「全体の交流会もまた11月に計画しているし、JES Sの交流会も年2回行っている。この交流会も今回限りにはせず、皆で集まれる機会を増やして定期的に行えるよう取り組んでいきたい」とまとめ、閉会しました。

6月16日〜17日に、東京都北区において第31回国労東日本電気職場交流会が開催されました。今回は地元東京ブロックから14名が参加する中で東日本本部役員を含め60名の参加がありました。また若手3名が参加し交流会を盛り上げました。初日の全体集会は、小林副議長の司会で開会しました。準備地本の石井書記長より「組織拡大を最重要課題として地本大会以降6名の加入があった。背景として貨物の新人賃金制度に対する国労の取り組みが加入に繋がった。電協も『変革2022』の交渉を行ってきたが、改めて全ての職場に施策が掛けられ、特に駅関係での全面委託化が進んでいる。労働組合としてのチェック機能を發揮して委託職場でも組織の拡大に

繋げたい」と挨拶があり、続いて東京地本電協の井上議長より、「メセ移管がされた地方では問題が多く出てきているので、交流会での突合せが重要になる。団交のあり方についても時間管理を会社は強めている。エルダー雇用では会社の提示が遅く当事者は不安を強めており、改善を求める取り組みが必要」と挨拶がありました。東日本本部からは大沼委員長が出席し、夏季手当交渉の取り組みについて、新エルダー制度改善の取り組みや通勤手当の見直し内容への見解と今後の対応について、社員代表者選挙への取り組みの集約と分析、全体への展開について、参議院選での憲法改正阻止に向けた取り組みなどが話され、東日本本部として「現場が働きやすい環境になるよう努力していく」と挨拶がありました。大角議長より交流会の意義と課題が提起され、「『変革2022』をはじめとした効率化施策による労働条件の悪化に対して、唯一協議を行える存在である労働組合としての行動力が鍵となる。そして労働組合がある安心感をどう訴え理解してもらうか、根気強く『関わり・繋がり・信頼』へと変化させて、変革への改善要求作り・組織強化拡大の闘いに結びつけていき

たい」と提起がありました。その後、各分科でそれぞれ議論が行われ、全体で「変革2022」の経過状況の報告が交わされました。大角議長は2日間を通して「『変革2022』では移管メセの指揮命令系統や障害対応、新幹線の総合技術者の育成教育、業務や設備の区分など問題が出ています。調査資料を具体的に進化させ、本社改善要求や各地方交渉においても使えるように整備し、国労以外の若手にも配布して会社に施策の責任を待たせるようにしたい。社友会の問題など一方通行な説明で職場は混乱している。今まで築いてきた鉄道の安全や職場での権利など、労働組合が意義のある結果をもたらしてきた事に自信を持って、若い世代に伝えていく事で組織拡大に繋げてもらいたい」と集約をしました。最後に大角議長の間接ガンバローで2日間の交流会を閉会しました。(電気協議会発)



(組合員の購読料は組合費に含まれます)  
港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 樋口孝重

No. 820 定価 20円  
2019年 7月26日

職場の矛盾 仕事の不満  
国労に結集し  
みんなで相談 解決へ

QRコードからでも閲覧できます  
<http://www.e-nru.com/>

6/16〜17  
電気協議会  
第31回職場交流会



6/1 各地方・地区本部 書記長・組織部長会議

6月1日、東京地本会議室において、各地方・地区本部、書記長・組織部長会議を開催しました。矢部副委員長の司会で始まり、大沼委員長が「現在、夏季手当交渉の最中であり、要求実現に向けて努力する。社員代表者選挙の意義と課題について、全体で意思統一を図りたい。参議院選挙の躍進から政治の変化を得るために奮闘する」と挨拶しました。伊藤書記長より、①19夏季手当獲得の取り組みについて、②組織の強化・拡大の取り組みについて、③協約改訂・労働条件改善の取り組みについて、提起がされました。武田組織部長からは、①東日本本部内における組織状況、②組織に関する取り組み、③東労組をめぐる状況、④2019年度新入社員対策と今後の取り組みについての報告を受けて、全体の議論に入りました。各地本からそれぞれの地方における取り組みの報告がされ「平成採用者を招いて『組織強化・拡大経験交流会』を開催して50名が参加した。未加入者も4名出席し、加入へ呼びかけたい」と独

最後に伊藤書記長が「社員代表者選挙における問題点や、エルダー制度のミスマッチ、短日数勤務の導入については、本社に改善を求めていく。65歳定年制を継続して求めていく」とまとめて、当面する闘いに向けた意思統一を行いました。

「短日数勤務が多くの職場で導入されていない。本社に強く要請してほしい」「エルダー雇用については、法律に基づいた対応を会社に守らせるべきである」と特徴点や東日本本部への要請がありました。



6/5 関東貨物協議会 潮干狩り

6月5日、千葉県更津海岸中之島公園において、毎年恒例となつてい

りました。地方からは高崎、長野、水戸、東京、千葉、さらには旅客や他労組の方も含めて多数の組合員・家族が参加し、忙しい中でも総勢55名の参加で開催されました。全体交流会は関東貨物協・榎戸事務長の司会で進められ、開催地本となる千葉地本・安田副委員長からは「JR以降30年も続いている関東レクはすばらしい成果をあげており、今後も続けていきたい」と挨拶をもらいました。

5/18~19 工作協議会 第14回学習交流会

東日本本部工作協議会は5月18・19日、第14回学習交流会を仙台市・大観荘において開催しました。例年は4月開催の交流会ですが、統一地方選の日程と重なり、この時期の開催となりました。

学習交流会は庄司副議長の司会で始まり、小野議長による主催者あいさつで、①在来線における保全体系の周期延伸の会社説明について、②新幹線の検査体系の周期延伸に向けた工作協議会の構成について、③貨物の新人事賃金制度について、④組織拡大について、⑤JR東日本の「変革20

27」の車両検修の問題について、などの問題提起がありました。続いて東日本本部・武田組織部長から、JR会社を取り巻く情勢と「変革2027」の車両検修業務における問題点、組織の強化・拡大について、問題提起を頂きました。和田事務長から工作協としての問題提起を受け、小野議長から「変革2027」の車両検修にまつわる問題点について補足説明がされた後、全体報告に移りました。

1日目の討論では、工作協の貨物職場から川崎・郡山・大宮の順で発言がされ、特に今年4月からの新人事賃金制度の問題点を中心に「全てにおいて成果主義であり、評価する人のさじ加減で上りも下がりもする制度となっている。また、4月の賃金は少し増えたように思われるが、定年退職時に今までのようなように変化があるのか不安である」などの報告がされました。2日目の討論では、各工場支部から業務量団交の報告をはじめ、組織拡大やアスベストの取り組みの報告がありました。社員代表者選挙についてもほとんどの工場支部で取り組みが、組合員の倍以上の得票を得た経験や、グループ会社で代表者を獲得した取り組みなどが報告されました。そしてそこから組織拡大に結びつける取り組みへの重要性を確認して頂きました。最後に和田事務長から、①「変革2027」の問題点を工作協として要求

化し、交渉の場においていくこと、②すべての取り組みを組織拡大に集約していくこと、③アスベスト問題では引き続き健康管理手帳取得の取り組みに全力をあげること、を強調してまとめを行いました。



そして準備協議会である千葉貨物協・齊藤議長と各地方協議会の代表者からの挨拶では客・貨一体となった各地方の取り組みについて情勢報告を受けるなど、運動展開や共闘を越えた交流が行われました。

また来年もこの場で潮干狩りを開催することを約束し、最後に東京貨物協・橋本幹事の団結ガンバロウで、今後の要求獲得・組織拡大に向け奮闘することを誓い、交流会を終了しました。(貨物協議会 発)



Advertisement for Affac cancer insurance. Text: 「生きるためのがん保険」を新しくします。 Includes a cartoon chicken character and contact information for Affac.